

令和4年度第3回泉大津市環境保全審議会議事録

令和5年1月13日（金）午後2時～3時

場所：泉大津市役所3階大会議室

参加者：竹中 規訓 大阪公立大学大学院現代システム科学研究科教授
田中 晃代 近畿大学総合社会学部総合社会学科教授
水谷 聡 大阪公立大学大学院工学研究科准教授
長谷川 路子 追手門大学経済学部経済学科講師

（事務局）

泉大津市都市政策部環境課（事務局）

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（MURC）

議事次第

1. 挨拶

2. 議事

- (1) 泉大津市第3次環境基本計画（案）及び泉大津市地球温暖化対策域推進計画（案）に対するパブリックコメントの結果について
- (2) 泉大津市第3次環境基本計画（最終案）について
- (3) 泉大津市地球温暖化対策域推進計画（最終案）について
- (4) 泉大津市再生可能エネルギー導入ロードマップ（最終案）について
- (5) 泉大津市第3次環境基本計画の策定に係る答申（案）について

配布資料：

資料1：泉大津市第3次環境基本計画（案）及び地球温暖化対策域推進計画（案）に対するパブリックコメントの結果について報告

資料2：泉大津市第3次環境基本計画（案）

資料3：泉大津市地球温暖化対策域推進計画（案）

資料4：泉大津市再生可能エネルギー導入ロードマップ（案）

資料5：泉大津市再生可能エネルギー導入ロードマップ（資料編）（案）

資料6：泉大津市第3次環境基本計画の策定について（答申）（案）

1. 開会

2. 事務局職員挨拶・委員紹介

3. 議事

(1) 泉大津市第3次環境基本計画（案）及び泉大津市地球温暖化対策域推進計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

・事務局より資料1の説明

(竹中会長)

質問・意見等あればお願いしたい。

(田中委員)

多い少ないという問題ではないが、回答者が1名のみであった。市内には環境活動をされている方も多くいると思うが、その方々への周知、実情はどうなっているか。

(事務局)

地域の清掃活動をしている衛生委員会の会議等でも、パブリックコメントの実施をお知らせしたが、意見はなかった。

(田中委員)

内容が難しいという意見もあった。専門家でも難しいので、わかりやすくした方がいい。

(竹中会長)

パブリックコメントの意見が一人では寂しい。

また、アンケートの結果全文は膨大であるが、リンク等を示し、公開期間を区切ってもよいので、HPで公開することは可能か。

(事務局)

HPで公開する。

(2) 泉大津市第3次環境基本計画（最終案）について

・事務局より資料2の説明

(事務局)

提案であるが、P8の記載において、9行目「教育権」を「教育を担う」とし、11行目「あやかり」を「概念」としてよいか。変更したいと考えている。委員各位のご意見をいただきたい。

(竹中会長)

事務局の提案について意見を聴取する。

「教育権」を、「教育を担う」とし、「あやかり」を「概念」とすることでよいか。

～委員より異議無し～

(竹中会長)

それでは修正することとする。

質問・意見等あればお願いしたい。

(水谷委員)

P19 の①について、全国平均より成果が上回っており、量は下回っているということ
とでよいか。

(事務局)

そのとおり。わかりにくいとの意見もあり記載の表現を変更したいと考えている。

(長谷川委員)

P5 の(2)地理条件は、都市地域が 100%であることも地理条件として記載すべき。
それにより森林吸収量も期待できないので記載すべきである。

P14 の目指す方向性の、「守る、変える、備える、育む」は後に生きていない。4つ
の視点を目立たせてはどうか。方向性ではなく、手段ではないか。

(事務局)

両意見とも検討する。

(田中委員)

緑の保全のところ、ほぼ100%市街化区域のところ、あえて保全を考えているなど、
水辺や緑を守っていくという表現ができればよかった。

生物多様性の国の計画が定まっていないので、詳しく書けないのは理解、納得はで
きるが、そこで消極的にならずに取組みを進めて欲しい。

記載の変更は難しいと思うからこのままでいいと思うが、ご検討いただきたい。

(事務局)

ほぼ 100%市街化区域の中で大津川や港湾などの水辺を保全し、生物多様性を守る
ことは重要であると考えている。しかしながら、現段階では記載は難しいので、今後、
施策などに反映し取り組んでいきたい。

(水谷委員)

用語集で、前半と後半で体裁が異なっているため、体裁を整えていただきたい。

(事務局)

訂正する。

(竹中会長)

P66 以降、用語集には BOD と 3010 を追加すること。

P67 海洋プラスチックごみは、海洋だけでないので、プラスチックごみとする。

修正点としては、P54 ごみの排出量のグラフの軸の修正を行うこと。

P53 で、有害化学物質グラフ内の単位に記載がないので追記すること。

(水谷委員)

P54 グラフにおいて 2 軸の時は軸を揃えるべきである。

(事務局)

訂正する。

(長谷川委員)

「生活環境」と「自然・文化環境」にて、取組む対象として土壌と土の記載がそれぞれあるが、どのように違うのか。

(事務局)

「生活環境」の土壌は公害など土壌汚染に関する取組み、「自然・文化環境」土は公園や農地など自然での土とのふれ合いに取組むこととなる。

(3) 泉大津市地球温暖化対策域推進計画（最終案）について

- ・事務局より資料3の説明

(竹中会長)

質問・意見等あればお願いしたい。

(水谷委員)

基本計画と同様に用語集の体裁を整えていただきたい。

(事務局)

訂正する。

(竹中会長)

P1 の気温について、計算の仕方によって地球の平均気温は変化する。温度変化を確認すること。

(4) 泉大津市再生可能エネルギー導入ロードマップ（最終案）について

- ・事務局より資料4、資料5の説明

(竹中会長)

質問・意見等あればお願いしたい。

私からは1点、P6 の表中ポテンシャルで、熱と電力で単位が違うのは仕方ないが違和感を感じるので、意識しておくこと。

(長谷川委員)

ロードマップは、他とリンクしているか。

(事務局)

地球温暖化対策地域推進に内容が反映され、基本計画と整合をとっている。

(水谷委員)

P22 ロードマップで表記が2行になる場合と、2項目の場合の区別をすること。

- (5) 泉大津市第3次環境基本計画の策定に係る答申（案）について
- ・事務局より資料6の説明

以上